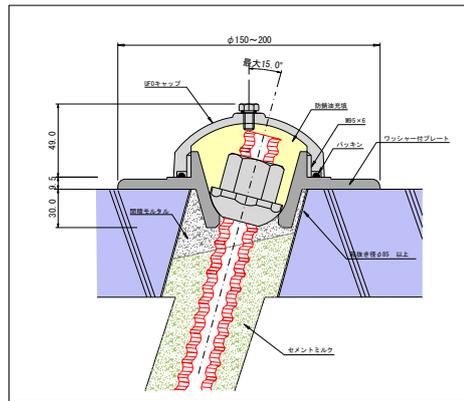


活用調査表

様式6

| | |
|-----------------------------------|---------|
| 技術名 低床型頭部保護材 | 登録 No. |
| | 23D1010 |

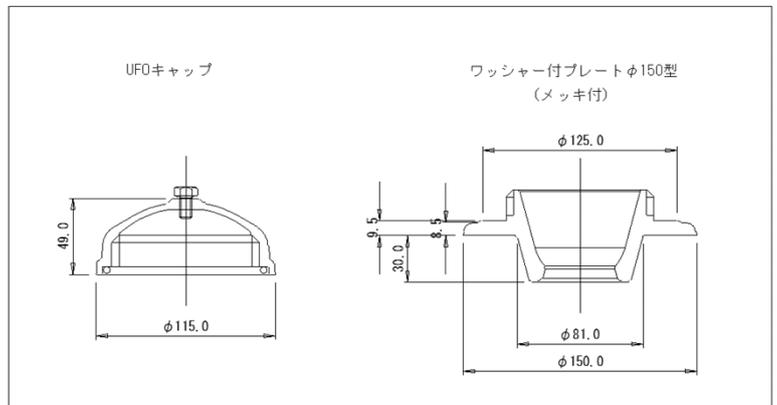
| | |
|-------------|------------------------|
| 施工内容 | |
| 施工年度 | 平成24年度 |
| 発注機関 | 上越地域振興局地域整備部 |
| 工事名 | (主)大湯高柳線 川谷拡幅道路改良工事 |
| 施工地 | 上越市吉川区川谷 地内 |
| 施工数量 | 168個 |



新技術の概要
 ロックボルト工(鉄筋挿入工)の頭部保護部材を低床化、簡略化することにより作業性の向上、コスト軽減を図るとともに、落石や雪崩による破損を軽減させた製品。低床化したことから植生による被覆も早く、景観性にも優れる。

評価結果

| 比較した従来技術 | | 防錆油入りヘッドキャップ |
|-----------|----|--|
| 項目 | 評価 | 評価内容 |
| 経済性 | □ | 製品単価および防錆油の使用量が低減でき、経済性が6%程度向上する。 |
| 工程 | □ | 施工日数は従来工法と同程度。部品数が少ないことやプレート据付けにおける微調整が不要のため作業員の負担軽減につながる。 |
| 品質 出来形 | ◎ | 耐久性の向上と円形プレートによる扱いやすさ、突出部の抑制、偏心誤差の減少により、品質・出来形が大幅に向上する。 |
| 安全性 | □ | 部品数が少ないことから、落下リスクが低減される。 |
| 施工性 | □ | 部品数が少ないことや、微調整が不要となるため、作業員の負担が軽減されるが、施工性は同程度である。 |
| 環境 | ○ | 低床型のため見た目の圧迫感の減少と植生による被覆が早くなり、景観性が向上。また、防錆油の使用量も低減される。 |
| その他 | | 低床化により圧迫感が低減できる。また、落石などによる破損リスクや積雪による堆雪リスクの低減につながる。 |



突出部が少なく歩行者や車両に対し障害になりにくい

◎: 優れている ○: やや優れている
 □: 従来技術と比べて同程度
 △: やや劣っている ×: 劣っている

活用上の留意点
 余長が5cmを超えないように、必ずグラウトが硬化する前に仮止めを行い、削孔壁の中心に鋼棒が来るようにする。

新技術問い合わせ先

| | |
|------|--------------|
| 会社名 | 株式会社 ダイチ |
| 所属部課 | 開発部 |
| 担当者 | 渡辺 寿則 |
| TEL | 0254-24-1612 |